

# 森林・里山と文化

人と自然の共生（現地）

日時：平成27年9月5日（土） 10:00～15:00

講師：林 進（犬山里山学研究所理事長）

## 概況



科目名：森林・里山と文化

「人と生物との関わり」と「森の健康診断マニュアル」(現地実習)

講師：犬山里山学研究所 理事長 林 進

### ○第1時限 10時から12時

- ・人と生物との関わりと題して、生物相の変化する要因から講義が始められた。
- ・また、古い時代からの人の自然の関わりを古文書から読み解き、現在の里山についての考察が紹介された。
- ・生物相の変化がもたらすものとして、「原生物風景の喪失」「史実と現実の乖離」「固有の自然環境と地域性の喪失」という問題点が指摘された。
- ・その上で、さまざまな課題を背負いながら客観的な事実を記録することは、変化が激しければなおさら、今を記録する価値は100年後においても低下することはないとされた。

### ○第2時限 13時から15時

- ・森の健康診断を吉田川沿いの沢筋、中腹、尾根沿いの3カ所について健康診断が

なされた。診断は、10m×10mの方形で基本カルテの作成が個人個人で行われた。

- ・沢筋では、斜面の向き、シデコブシ、立ち枯れの木など記録等がなされた。
- ・また、山腹面の森林では、斜面の向き、歩道、樹種など記録がなされた。
- ・また、尾根沿いの森林では、他の2箇所 비해樹高が低いことなど記録がなされた。